

## 知事と区市町村長との意見交換（品川区）

令和1年10月29日（火）

14時40分～15時00分

○行政部長 それでは早速でございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○知事 本日、御多用のところお出まじいただきまして、誠にありがとうございます。先だって戸越銀座、御一緒させていただきました。

また、今回は都の長期戦略を描くという段階で、各区市町村の皆様方の御意見を伺っております。短い時間ではございますが緊急、最近の防災の話もあるかもしれませんし、また中長期のお話も伺えればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○品川区長 よろしく申し上げます。

○行政部長 それでは濱野区長、よろしく申し上げます。

○品川区長 貴重なお時間をいただきまして、大変ありがとうございます。私からは品川区について、主に水辺の活性化、そして商店街の活性化、このことについてお話をさせていただきたいと思っております。

跡見学園女子大学の観光学の教授でいらっしゃいます、安島先生という方がいらっしゃいまして、「品川区を売り出すにはどうしたらいいでしょうか」とお話を申し上げましたら、「何もないでしょう」ということを言われまして、それで「え、そんなことはないと思いますが」と申し上げましたら、「強いて言えば水辺じゃないでしょうかね」というふうにおっしゃってくださいました。

そこで水辺の活性化と、そして品川は昔から商店街が盛んな所ありますので、水辺の活性化と商店街の活性化ということで、今日はお話をさせていただければと思います。

この水辺は私共にとりましては非常に重要な資源だというふうに思っておりまして、これまで東京都のお力をお借りしながら栈橋とか、道路、公園の整備、舟運の社会実験、こんなようなことに積極的に取り組んでまいりました。区といたしましてもハード、ソフトの両面から重点的に取り組んでまいりました。

ハード面では目黒川に新たな舟運の拠点として、「五反田リバーステーション」というものを整備いたしまして、護岸から下へ下りて行ってそこから船に乗るという、そういう施設を整備いたしました。

そしてまた京浜運河、あるいは目黒川の水辺エリアではライトアップを行いまして、七色というわけでもないですけども、いろいろな色で橋や栈橋、そして護岸等を彩っております。ラグビーの世界カップ、あるいは2020大会の1年前イベントの時にも、それぞれシンボルカラーのライトアップを行いまして、大会の気運醸成に努めてきたところでございます。

そしてソフト面におきましては、企業やいろいろな団体、オール品川で観光振興を図る品川区観光振興協議会、こういうものを設置をいたしまして、様々な事業を展開してまい

りました。

先だっても天王洲アイルを中心に、「しながわ水辺の観光フェスタ」ということで橋本オリンピック・パラリンピック担当大臣にも御視察をいただきましたけれども、3,000発の都市型花火大会等も実施をいたしまして、大変に多くの皆様がお越しをいただいで楽しんでいただいたところでございます。

品川という所は昔から、江戸と呼ばれた以前より品川湊という港町でございました。今お付き合いのある福井県の坂井市という所も、ここも港町で坂井湊というのがございますけれども、そういう意味では水辺のまちということで、現在では品川埠頭とか大井埠頭とか、東京港の主要コンテナ埠頭が区内に数か所位置しております、東京の稼ぐ力の一翼を担ってきた所だというふうに思っております。

また、来年には東八潮にあります船の科学館の先に、東京国際クルーズターミナルを開業していただくことになっておりまして、物流の拠点から国際観光都市、東京の玄関口、東京の発展にとっても港の持つ役割が増々重要になってくるというふうに思っております。品川区民にとりましても、港や水辺を身近に感じ、観光や産業の拠点として育てていけるよう、一層の御協力をいただければというふうに思っておりますので、新たな都の長期戦略におきましても、積極的な施策展開を御検討いただければ大変にありがたく感ずるところでございます。

次に商店街の活性化です。これも大事な施策でありまして、品川区は四方約5キロの狭いエリアでありますけれども、104の商店街がございまして、それぞれの商店街で一生懸命努力をしているところでございます。

先だってお出でいただきました戸越銀座も品川区を代表する商店街でありますけれども、その他にもいろいろ商店街がございまして、

国際化の推進等、商店街の基盤を強化する支援を東京都からも御協力いただければ、ありがたく思う次第でございます。

今後は訪日外国人がさらに増えるということでもありますので、一層輝いていけるような魅力ある場所へ育てていきたいと思っております。

そのためにも先日、知事が御来訪いただきました時に御覧いただきました、キャッシュレス化に一生懸命取り組んでまいりたいと思います。またバリアフリー化、あるいはSociety5.0を見据えたICT環境を強化していきたい。

そういうことでいろいろな取り組みをしておりますので、ぜひ新たな都の長期戦略におきましても、積極的な施策展開と継続的な御支援を御検討いただきますようお願いを申し上げます。

最後になりますけれども、これまで都区連携の下に不燃化10年プロジェクトというものを強力に推進してまいりました。

品川区はまだまだ燃えやすい区だというふうにも思っておりますので、ぜひ計画期間である令和2年度末までの不燃化率の70%はなかなか難しいなというふうに思っております、ぜひ事業期間の延長についても御検討いただければ大変にありがたいと思っております。

品川区といたしましても精一杯努力をしてみたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。私からは以上でございます。ありがとうございました。

○知事 ありがとうございました。まず水辺の活性化についてのお話がありました。私も天王洲地区に、寺田倉庫さんがライトアップをされて、あとインフィオラターという花びらの絨毯のイベントにも、あの日雨が降って寒かったのを覚えているんですが、何もないことないです、いろいろと夜を明るくするだけで宝物が見えるかと思っておりますので、今後も引き続きそういう意味で天王洲水門のライトアップ等を含めて、魅力的な夜間の景観を創出していくということで、取り組みを進めていきたいと考えております。

それから舟運ですけれども、2016年から2年間、新規航路の開拓に関しての社会実験を行ってきた。それに加えまして今年度ですけれども、朝の通勤って言いましょうか、その交通手段で社会実験を行いまして非常に、それと大会、2020年の大会期間中の交通の新しい手段として、スムーズビズを展開するわけですけれども、その集中期間中に調査をするための運行も行って、非常によく御活用いただいたという実績がこれで出来たということです。

もっと知らしめていく必要もございますので、PRであるとか、船着き場周辺での地域を観光してもらうような資源をつくっていく等、品川区さんとは連携して賑わいを創出していきたいと思っております。

それからレインボーブリッジをくぐれないほどの大型クルーズ客が増加しているということで、大型客船にも対応可能な、今お話ございました新たな客船埠頭を整備をして、出来るのが来年の7月14日です。パリ祭とほとんど関係ないんですけれどもね。

ということで、東京国際クルーズターミナルの開業ということで、今最後の完成に向けて進めているところです。

よって、観光協会や水辺で活動される様々な団体もありますので、水辺での賑わいの創出ということは観光の観点からも、また交通の確保と緩和の観点からも進めていくということで、賑わい創出施設整備、それからイベント事業に対しての補助も実施をしているところでありまして、水辺の空間の活用ということについては、引き続き支援をしてみたいと思っております。

2つ目が商店街でありますけれども、戸越銀座商店街は都内でも最も長い、国道を挟んで両方で、またキャッシュレスを既にお店の側も努力して入れようと、導入されようとしているところ、現場を拝見いたしました。

また、訪日外国人がさらに増えていくという点では、キャッシュレス化や無線LANの環境を整えていくということ。それから障害のある方々が安心して移動できるような、また暮らせるようなバリアフリー化等々、商店街をベースにしながらいろんなイベントのバリエーションもあるわけでございますので、魅力ある商店の育成も今後とも続けていきたいと考えております。

それから木密ですね。木密は不燃化特区等を活用して、具体的には大井の5丁目、7丁目と西大井の2、3、4丁目等で、都と区が一体となって不燃化に取り組んでいるのは御承知

のとおりであります。

一層この不燃化を進めていくということで、防災都市づくり推進計画の改定に向けた検討を進めておりますので、今後計画の基本的な考え方をお示しいたします。そこはやはり現場の区と連携しながら、燃え広がらない、燃えないまちの実現に取り組んでまいりたいと考えております。

やはり新潟でしたか、糸魚川の大火を見ているとやはり不燃化はいかに重要かということを示しておりますし、私も神戸の惨状を直に見ておりますので、長田区は本当に道が細くて、不燃化ということとはかなりほど遠かった。それから狭い所にも電柱があつてなかなか救助ができないということで、もう燃え尽くすまで、もう皆、茫然としたというのが記憶に残っているかと思えます。

そういう意味ではやはりもう想定を越えるとか、この不燃化については想定内の話でございますので、その想定外とかいう言葉が不燃化地域については想定している課題でございますので、ぜひここを早急に、不燃化対策を現場で進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○品川区長 区としても一生懸命取り組んでまいりますのでよろしく願いいたします。

○知事 はい。ありがとうございます。

○行政部長 濱野区長、いかがでしょうか。まだもうちょっと時間ございますが。

○品川区長 先ほどもちょっと触れましたけれども、品川区というのは本当に狭い所、人口が今40万超えて、ざわざわざわわしてるまちになっておりまして、これもあまり整え過ぎるとシーンとしてしまいますけれども、ただ余りにもざわざわしていますと、交通事故だとかそういうことが起きますので、いわゆる道路の拡幅とか、そういうまちづくりの面で東京都のお力をぜひお借りできればというふうに思っております。またそのセクションから、都さんのセクションの方をお願い事があるかと思いますが、その節はもしよろしければ取り組んでいただければと思います。

それから歴史という意味で、先ほどもちょっと触れさせていただきましたけれども、元々は港町でございました。今、坂井市ともいろいろと交流をしまして、坂井湊と品川湊というようなことでありまして、そういうその歴史を表象するような、象徴するような事柄について、ぜひ東京都としていわゆるいろんな地域がありますから、それぞれの地域に地域の特性とか歴史というのがあると思っておりますので、そこに対する御支援とかバックアップをしていただければ、大変にありがたいと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

○知事 ありがとうございます。そして戸越銀座も私も何度も訪れて、無電柱化で品川戸越銀座方式のような形を編み出しているかと思えます。

特に不燃化地域のその無電柱化も、これも道路法の改正等もございました。それで進めねばならない地域でございますので、そういったことも含めて、拡幅と同時にそれを一緒に行うということで、工事費も安くあげるというように、様々な工夫が必要かと思っております。今後共そういう意味でセーフシティ品川ということで、ぜひ御取り組みいただけ

るような体制で連携を取らせていただきたいと思います。

○行政部長 そろそろお時間になります。本日はどうもありがとうございました。

○品川区長 どうもありがとうございました。よろしく願いいたします。